

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月2日(2018.8.2)

【公開番号】特開2017-6698(P2017-6698A)

【公開日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-164672(P2016-164672)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機枠と、
遊技盤と、
演出に用いられる第 1 演出手段および第 2 演出手段と、
前記第 1 演出手段を制御可能な第 1 制御部と、
前記第 2 演出手段を制御可能な第 2 制御部と、を備え、
前記第 1 演出手段および前記第 1 制御部は、前記遊技機枠に設けられており、
前記第 2 演出手段および前記第 2 制御部は、前記遊技盤に設けられており、
前記第 1 制御部には、前記第 2 演出手段の制御のためのプログラムが格納されており、
前記第 2 制御部は、前記プログラムを処理可能な処理手段と、前記プログラムを格納可
能な記憶手段とを有している遊技機であって、
所定の転送条件が成立したか否かを判定する転送条件判定手段と、
前記転送条件判定手段による判定結果に基づいて、前記第 1 制御部に格納された前記プ
ログラムを前記記憶手段に転送可能な転送手段と、
前記プログラムが転送される前に、前記処理手段による処理を停止させる処理停止手段
と、
前記プログラムが転送された後に、前記処理手段による処理を開始させる処理開始手段
と、を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の遊技機は、

遊技機枠と、

遊技盤と、

演出に用いられる第 1 演出手段および第 2 演出手段と、

前記第 1 演出手段を制御可能な第 1 制御部と、

前記第 2 演出手段を制御可能な第 2 制御部と、を備え、
前記第 1 演出手段および前記第 1 制御部は、前記遊技機枠に設けられており、
前記第 2 演出手段および前記第 2 制御部は、前記遊技盤に設けられており、
前記第 1 制御部には、前記第 2 演出手段の制御のためのプログラムが格納されており、
前記第 2 制御部は、前記プログラムを処理可能な処理手段と、前記プログラムを格納可
能な記憶手段とを有している遊技機であって、
所定の転送条件が成立したか否かを判定する転送条件判定手段と、
前記転送条件判定手段による判定結果に基づいて、前記第 1 制御部に格納された前記プ
ログラムを前記記憶手段に転送可能な転送手段と、
前記プログラムが転送される前に、前記処理手段による処理を停止させる処理停止手段
と、
前記プログラムが転送された後に、前記処理手段による処理を開始させる処理開始手段
と、を備えていることを特徴とする。